



いながわ 特派員報告



岩井 亜希子

山本 のゆり

商

どんなところ？

猪名川町商工会

「猪名川町プレミアム付商品券」。お買い物やリフォームにご利用された人も多いはず。一体どこが発行したのか皆さんご存知でしょうか？「猪名川町商工会」です！町には550近くの事業所があり、現在約74%が猪名川町商工会に加入しています。商売人さんも、そうでない人も、ぜひ地元商工会の活躍を知ってください。

社長さん、そのお困りごと一緒に解決しましょう

細やかなアドバイスで

経営をサポート

町内の事業主さんは、無料で経営支援を受けられます。商工会の経営指導員が、法律や税金、起業など、経営全般の相談に応じます。内容によっては、専門家の派遣もしています。指導員は国や自治体の施策や補助金などのアドバイスもします。また、商工会主催のセミナーへの参加や各部会の活動は、町内の事業者同士はもちろん、ほかの地域との関わりもあり、新しいつながりやアイデアをも



らえる良い機会にもなります。

地域を元気に

盛り上げるお手伝い

商工会は、猪名川町プレミアム付商品券の発行で地域を活性化させたり、いながわ桜まつりの実行委員会など、町が元気になるイベントも積極的に取り組んでいます。

来年度末には、いよいよ新名神高速道路も開通予定です。町にたくさんの方が訪れてくれるような、魅力あるまちづくりに貢献し、PRするのも、商工会



の大切な役割です。
▼問合せ 猪名川町商工会 ☎766・3012

◆猪名川町プレミアム付商品券（一般お買物券）

商工会会員の店舗（大型店舗を除く）で使うとスタンプがたまり、スタンプを5個集めると抽選で10万円相当の旅行券。ぜひ地元のお店のお店で使ってください！

人が訪れるまちを目指して

地域を支えるのは、人。商工会は町を訪れる人の数を増やすため、日々さまざまな取り組みをしています。

◆10月18日、11月15日（いずれも日曜日）には、「いながわ町ぶらサイクルロゲイニング」を開催。チェックポイントには名所や飲食店も。



▲お好み焼き「ふあみぐりあ」（日生中央）
商工会のアドバイスで、バリアフリー化。お客様も喜んでます！



▲本格コーヒーと生演奏「カフェ・プーランク」（日生中央）
税金の相談ではお世話になってます。

商工会とわたしたち



▲レストラン「山の駅」（肝川地区）
飲食店同士のつながりや、地域イベントが実現しやすいのも商工会あってこそ。

今の自分があるのは、商工会のおかげです



わたせ ひろふみ
渡瀬 博文さん
鎌倉地区の渡瀬建材店を経営。二代目。

特派員 入会したきっかけは？
渡瀬さん 父が商工会の設立当時から入っていて、私が関わるようになったのは、青年部の活動に誘われてからです。

特派員 青年部でどんな活動を？
渡瀬さん 当時は「ラブリバーMAGAWA」というイベントの運営です。今夏の「川の遊園地」もその時のノウハウを活かして、お手伝いしました。

己の事業の弱点を知り、強みを活かす

特派員 本業での変化は？
渡瀬さん 活動を通じ、若い経営者同士の情報交換や、経営改善セミナーに参加するようになり、自分では解決できない問題を自覚し、悩みました。
特派員 問題は解決しましたか？
渡瀬さん 商工会に相談すると、

中小企業診断士の先生を派遣していただきました。町も北部地域は人口減の中で、既存事業だけでは売り上げが伸びません。そこで先生や商工会の支援を受け、経営革新計画を作りました。事業の強みと弱みを把握して、強みを活かすんです。

うちの場合は機械を売って終わりではなく、修理や相談などを受けてお客様とのパートナーシップを大切にしていること。そして、今年は商工会のアドバイスを受けて持続化補助金を活用し、棚を新設できました。
特派員 商工会が大きなメリットをもたらしたのですね。
渡瀬さん 商工会では、自分の経営を伸ばす最良の方法を選べる。まだ入っていない人も入ってみて、商工会がどんなところか知ってほしいです。



●編集後記

少子高齢化が進んでも、そこにいる町民が元気で、誇れる故郷であってほしいという気持ちで、地域振興に関わっているそうです。商売繁盛は故郷の発展と共にある、そんな事業主さんと商工会を応援したくなりました。

ステージより「ありがとう」をこめて

◀ 8月30日、文化体育館で町内の若者が中心となって開催されたオールジャンルフェス『SWING-BY ～無限への挑戦～』。今年のテーマは「繋がりに感謝を」。それぞれの出演者が家族や友人など、日ごろ自分たちを支えてくれている身近な人々への感謝を胸に舞台に立ち、練習の成果を披露しました。



つかみどりのアユを塩焼き！



▲ 9月8日、ふるさと川の川「猪名川」について考える環境学習の一環として、六瀬中学校の全生徒と楊津小学校4～6年生が、ふるさと館でアユのつかみどりを行いました。捕まえたアユは楊津小学校で塩焼きにし、子どもたちは命の恵みに感謝しながらおいしくいただきました。最後は両校で「アユ宣言」を発表しました。

ふもとにゆ〜す

鉄人レースに挑戦！



▲ 8月24日、猪名川小学校で「ミニトライアスロン大会」が開催されました。良く晴れた夏空の中、210人の子ども達は、水泳・自転車・ランニングの3種目を連続で行い、ゴールを目指しました。コース脇で応援する人の声に励まされながら、全員が完走しました。

アストロピアで天体ショー！



8月22日、猪名川天文台で「第14回猪名川星まつり」が開催されました。当日は天気がよく、設置された天体望遠鏡で土星を見たり、寝転がってプラネタリウムを見たり、星空を堪能しました。当日は、国際宇宙ステーションの通過が肉眼で確認できたり、大きな流れ星を見られたりと奇跡の天体ショーに訪れた人からは歓声が聞こえました。



英語で喋ってバララットへ！



▲ 9月6日、社会福祉会館で英語スピーチコンテストが開催されました。町内中・高校生ら77人が参加し、発音やジェスチャーに気を遣いながら日頃の学習の成果を競いあいました。高校生の部優勝の森 愛実さん（1年）・準優勝の臼杵 瑞希さん（1年）は、来春、姉妹都市バララット市へ派遣予定です！

みんなでコンサート！！



▲ 9月9日、文化体育館小ホールで「親子で楽しむコンサート」が開催されました。歌に合わせて体を動かしたり、楽器などを使って一緒に演奏したり、子ども達は、本物の楽器に大満足の様子でした。

救急現場でできること！

▼ 9月6日、イオンモール猪名川で「救急フェア2015」を開催しました。救急アドバイザーの指導による心肺蘇生法やAEDの体験、消防職員による寸劇などが行われました。実際の現場で活動している救急隊員による本番さながらの演技はとても分かりやすく、AEDの設置場所や使い方を認識し、私たちが救急現場でできることを確認する機会となりました。



B&G100万人達成！



▶ 9月11日、町B & G 海洋センターの入場者数が100万人を突破しました。記念すべき100万人目は長年施設を利用している駒田さん。関係者らの拍手の中でくす玉を割り、記念撮影の後はいつも受講している教室で汗を流しました。

万葉のうたを サンバのリズムで



▲ 9月6日、中央公民館で行われた「新万葉故地いながわセミナー」。「猪名川」にまつわる万葉歌の講話の後、電子ピアノの伴奏でサンバやブルースに乗せて歌われるうたがたり、105人の観客は古代に思いを馳せました。

